

第3次福知山市子どもの読書活動推進計画



令和3年2月

福知山市教育委員会

福知山市の教育目標

『自分のために 人のために 社会のために
共に幸せを生きる人材の育成』

目次

第1章 計画策定の基本的な考え方	1
1 計画策定の趣旨	1
2 計画の位置づけと期間.....	1
3 計画の策定体制	2
第2章 福知山市の現状と課題について	3
1 福知山市の子どもの現状	3
2 第2次計画における取組の成果と課題	3
第3章 「第3次福知山市子どもの読書活動推進計画」 の基本方針	6
1 計画の理念	6
2 計画の推進体制	7
3 施策体系	8
第4章 「第3次福知山市子どもの読書活動推進計画」 の具体的方策	9
1 家庭で本と出会う.....	9
2 保育園・幼稚園・こども園等で本と出会う	11
3 学校で本と出会う.....	13
4 市立図書館で本と出会う	15
5 地域で本と出会う.....	18
参考資料	19
用語集.....	19
第2次計画における取組とアンケートの分析.....	20
『平成31年度 全国学力・学習状況調査』の分析.....	28
策定委員会 委員等名簿.....	29

第1章 計画策定の基本的な考え方

1 計画策定の趣旨

平成13年12月に「子どもの読書活動の推進に関する法律」が制定され、京都府では平成16年3月に「京都府子どもの読書活動推進計画」が策定されました。

福知山市では新図書館建設計画にあわせ「福知山市立図書館基本計画」と「福知山市子どもの読書活動推進計画」（以下「第1次計画」という。）を平成20年3月に策定しました。

その後、平成27年1月に「京都府子どもの読書活動推進計画（第三次推進計画）」が策定されたことを踏まえ、平成27年度に見直しを行い、平成28年2月に「第2次福知山市子どもの読書活動推進計画」（以下「第2次計画」という。）を策定しました。

第2次計画は、福知山市の子どもたちが読書を楽しみ、読書をとおして「生きる力」を培い成長する環境を整え、福知山市の教育目標である『自分のために 人のために 社会のために 共に幸せを生きる人材の育成』を基本方針とし、計画期間は平成28年度から5年間です。

令和2年度が第2次計画の最終年度であることから、令和3年度以降の計画を策定します。

2 計画の位置づけと期間

(1) 関連計画

年月	主な計画
平成13年12月	国が「子どもの読書活動の推進に関する法律」を制定
平成16年3月	京都府が「子どもの読書活動推進計画」を策定
平成20年3月	福知山市が「福知山市図書館基本計画」「福知山市子どもの読書活動推進計画」を策定
平成27年1月	京都府が「京都府子どもの読書活動推進計画（第三次推進計画）」を策定
平成28年2月	福知山市が「第2次福知山市子どもの読書活動推進計画」を策定
令和2年3月	京都府が「京都府子どもの読書活動推進計画（第四次推進計画）」を策定

(2) 計画の期間

計画期間は、令和3年度からおおむね5年間とします。

年度	H20~H27	H28~R2	R3~R7
福知山市子どもの読書活動推進計画	第1次	第2次	第3次

3 計画の策定体制

本計画の策定にあたっては、第1次・第2次計画と同様、本市の小中学校及び保育園、幼稚園をはじめ関係機関における子どもの読書活動について現状と課題を洗い出し、学識経験者や子どもの読書活動の有識者などから構成される策定委員会で意見をいただきながら、子どもの読書活動に関する課題、対策などの協議を行いました。

(1) 「第3次福知山市子どもの読書活動推進計画」策定委員会

本計画は、学識経験者やボランティア関係者などから構成される「第3次福知山市子どもの読書活動推進計画策定委員会」での意見や計画案の検討などを踏まえたうえで策定しました。

(2) 「第3次福知山市子どもの読書活動推進計画」庁内委員会

庁内の関係部署から構成される「第3次福知山市子どもの読書活動推進計画庁内委員会」で策定委員会の協議資料や計画の素案を作成しました。

(3) アンケート調査の実施

市内の学校や保育園、幼稚園、こども園、保育事業所、児童館、放課後児童クラブなどにおける子どもの読書活動の現状を把握し、課題を洗い出すためにアンケート調査を実施しました。(調査結果はP20参照)

【調査の概要】

調査対象	小学校（16校） 中学校（11校） 高等学校（6校） 保育園（21園） こども園（6園） 地域型保育事業所（5園） 幼稚園（4園） 児童館・児童センター（9館） 放課後児童クラブ（16クラブ）
調査時期	令和2年8月
調査方法	郵送・メール等による配布・回収
対象施設総数	94施設
回収数（回収率）	87施設（92.5%）

第2章

福知山市の現状と課題について

1 福知山市の子どもの現状

『平成31年度 全国学力・学習状況調査』（P28参照）の結果から見ると、「読書が好き」と回答した小学6年生の割合は全国よりも多い傾向にあり、平成27年度調査と比較しても「好き・どちらかといえば好き」な子どもは増えています。しかし、中学3年生については「好きではない」割合が全国よりも多く、課題があると考えられます。

また「新聞を読んでいる」と回答した児童生徒の割合は、全国よりは多くなっていますが、半数以上が「ほとんど読まない」と回答しています。

2 第2次計画における取組の成果と課題

（1）家庭で本と出会う

関係機関が講演会やおたよりなどさまざまな機会をとおして、家庭での読みきかせや読書（家族読書）の大切さを啓発する取組を進めました。

母子健康手帳交付時に、妊娠・出産に関する本や絵本・CDを紹介し図書館利用を促す「子育ておうえん本！リスト」を配布したり、「パパママ学級」で読みきかせやわらべうたの実演を行うなど、出産前からの啓発にも取り組みました。

4か月児健診時のブックスタート（※）を継続し、ボランティアによる読みきかせを体験してもらうことで、親子で絵本の楽しさを分かち合う（share books）大切さを伝え、乳幼児期からの読みきかせにつなげています。

しかし、家庭環境が多様化する中、家庭における読書環境にはばらつきがあります。今後も家庭における読書の楽しさと大切さを広める取組を続けていく必要があります。

※ブックスタート → P19 用語集参照

(2) 保育園・幼稚園・こども園等で本と出会う

保育園や幼稚園・こども園等では、毎日の絵本の読みきかせや、図書コーナーを設置して絵本の貸出や季節の絵本やおすすめ絵本を展示したり、園のおたよりで紹介したりするなど、園・家庭で子どもたちが本と出会う環境づくりを続けてきました。小学校や地域の方々との読みきかせをとおした交流をもった園もありました。

職員も、講演会やセミナーに参加して自己研鑽に努めるなど、子どもたちがより本を楽しむことができるよう努めました。

今後も、子どもたちが本と出会い読書の楽しさを継続していけるよう、保育園・幼稚園・こども園等での取組を進めていく必要があります。

(3) 学校で本と出会う

市立小中学校では、朝読書や昼時間を活用した読書をとおして読書習慣が身につく、読書感想文や「子ども読書本のしおりコンテスト」の積極的な応募につながりました。

小学校ではボランティアによる読みきかせやブックトークなどを実施したほか、読書活動としてビブリオバトルを取り入れた学校もありました。

中学校では図書委員会など生徒主体の取組（キャンペーンの実施）が、本と出会うきっかけとなっています。

学校司書を活かした図書館活用が進められたことで、学校図書館の環境整備や教職員と連携した読書の取組を行うことができました。

今後も、読書の楽しさを広げるとともに、学習センター・情報センターとしての役割を果たせるよう、より一層学校図書館の充実を図る必要があります。

(4) 市立図書館で本と出会う

市立図書館では、多くのボランティアに協力いただいて、おはなし会などの種類や回数を増やしました。また、絵本作家を招いての「読みきかせ&ワークショップ」、中央館では「わくわくチャレンジ」「親子見学ツアー」など体験型の子ども向けイベントを開催しました。

分館でも「としょかんまつり」や「本の福袋」といった独自の取組を実施するなど、本に興味をもってもらうきっかけづくりに努めました。

小学生の見学や中学生の職場体験学習、高校生のインターンシップを積極的に受け入れ、夏休みの「高校生によるおはなしのひろば」（高校生ボランティアによる乳幼児向けおはなし会）やおすすめ本のPOP展示などの連携も進めました。

今後は更に、関係機関やボランティアと連携して、より多くの子どもに本を届ける体制を整備する必要があります。

(5) 地域で本と出会う

児童館では、図書室や図書コーナーで本の紹介や貸出を行いました。また館だよりなどで本の紹介をすることで、本に興味を持つ機会をつくりました。

児童館で実施している乳幼児教室や子育て支援センター等で、図書館職員によるおはなし会を一緒に開催するなどの連携も継続して実施し、保護者にも読書や読みきかせの楽しさを感じてもらおうきっかけにしました。

また、児童館で本と親しむ機会を増やす取組では、来館児童への読みきかせにより、本の貸出数が増えている館もあります。

さらに、図書館の団体貸出サービスを利用することで、幅広い分野の本を子どもたちの目に届くところにおける環境をつくることもでき、子どもたちが本を身近に感じることができました。

放課後児童クラブでも、指導員による読みきかせを行っており、子どもが本と親しむ環境をつくることができました。

今後も、子どもたちの心をより豊かにするために、子どもに身近な地域で読書を楽しむ環境づくりを進める必要があります。

第3章

「第3次福知山市子どもの読書活動推進計画」 の基本方針

- 1 子どもが本と出会い、読書の楽しさを体験する機会を広げる
- 2 読書をとおして学ぶ力・考える力・判断する力を伸ばす
- 3 子どもと本をつなぐ 人と場を育む取組を進める

1 計画の理念

子どもの読書活動を推進するために大切なことは、子どもたちが「読書の楽しさを体験すること」と「体験できる環境を整えること」です。本計画でも引き続き、子どもたちが生涯にわたって読書・本を身近に感じ、楽しむことのできる取組の実施に努めます。

石井桃子さんは「新編 子どもの図書館」で、次のように書かれています。

「子どもが、本（文字）の世界にはいって得る利益は、大きく分けて二つあると思います。一つは、そこから得た自分の考え方、感じ方によって、将来、複雑な社会でりっぱに生きてゆかれるようになること、それからもう一つは、育てゆくそれぞれの段階で、心の中で、その年齢で一ばんよく享受できる、たのしい世界を経験しながら大きくなってゆかれることです。」

（石井桃子「新編 子どもの図書館」『石井桃子集5』岩波書店、1999年 まえがき より）

このように、読書は子どもたちに新しい出会いや発見をもたらす、日常生活とは違う世界に導きます。導かれた物語の世界をとおして、子どもたちは自らの内に感性と創造する力を育てていきます。

幼いころからの読みきかせにより「言葉」と「人とのかかわり」を体験すると、子どもは安心感と周囲の人への信頼感を培い、自分が大切にされているという自己肯定感を獲得します。何より、大好きな人と大好きな絵本を読んで過ごした時間と記憶は、生涯にわたって心の財産となり、大切な意味を持ちます。

さらに読書をとおして人は、知識や情報を得ることができます。知識や情報は、経験したことについて理解を深めるだけでなく、経験したことの無いことについても、学び、考えさせます。人は読書をとおして得た知識や情報をもとに学び、考え、自分の意見を育み、物事を判断する力を身につけます。自分で物事を判断する力は、自己・個の確立につながり、それは、生きる力を培うことにもなります。

本計画は、福知山市の子どもたちが読書を楽しみ、読書をとおして「生きる力」を培い成長する環境を整え、福知山市の教育目標である『自分のために 人のために 社会のために 共に幸せを生きる人材の育成』を目指し、取組を進めます。

2 計画の推進体制

関係機関相互の連携を図るため庁内に設置した「福知山市子どもの読書活動推進連絡会」(※)が、引き続き本計画の実施状況を把握し、効果的な読書活動を推進します。

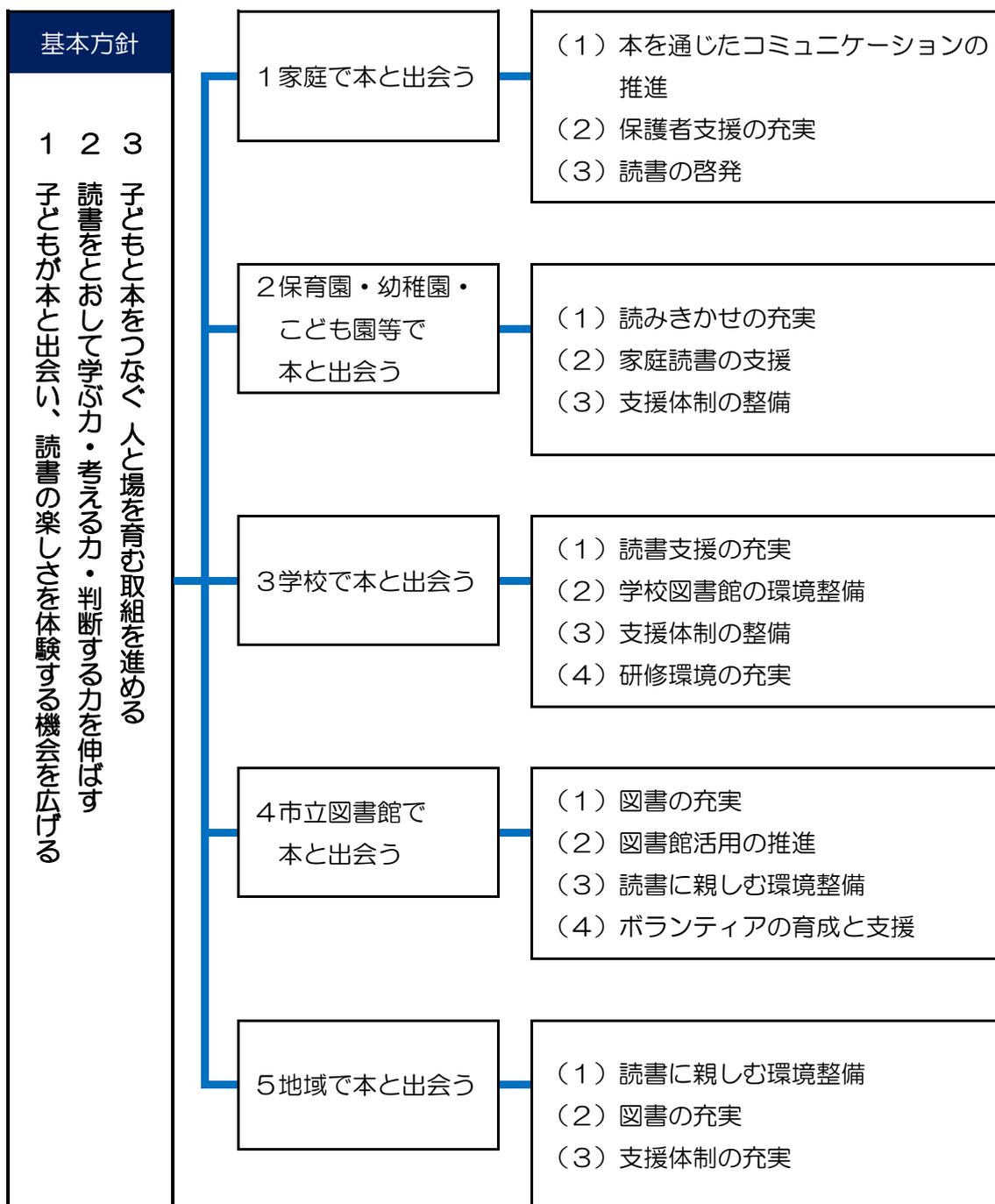


本計画の実施状況については、毎年度「福知山市立図書館協議会」(※)に報告し、施策の評価や見直しについての協議を行うことで本計画の着実な推進を図ります。

※福知山市子どもの読書活動推進連絡会・福知山市立図書館協議会 → P19 用語集参照

3 施策体系

第2次計画の実績と課題、及び本章に示した基本方針を踏まえて、次の5つの子どもを取り巻く環境から子どもの読書活動を推進していきます。



第4章

「第3次福知山市子どもの読書活動推進計画」 の具体的方策



1 家庭で本と出会う

— 言葉とふれあい、人とふれあいます —

子どもにとって、乳児期の言葉の体験は大切です。子どもは自分の耳で周りの音や人の声を聴き、その目で新しい世界を見て育ちます。家庭は子どもにとって、人間として尊重され安心して日常生活を送り健やかに成長する大切な居場所です。

人への信頼感の基礎を培うこの時期に、家庭で本と出会い、言葉を学び、感性を磨き、創造する力を豊かなものにする取組を進めていきます。

(1) 本を通じたコミュニケーションの推進

事業内容・具体的取組

- 読みきかせや読書が、子どもとのコミュニケーションに有用であることを啓発する講演会などの開催に努めます。
- 4か月児健診時に実施しているブックスタートでの「読みきかせ体験」を継続し家庭での絵本をとおしたコミュニケーションの推進につなげます。
- 「パパママ学級」で絵本を紹介し、読みきかせなど親子で読書するきっかけづくりに努めます。
- 市立図書館のおはなし会などを開催し、親子で読みきかせを楽しむ機会を提供します。

(2) 保護者支援の充実

事業内容・具体的取組
<ul style="list-style-type: none">○ 4か月児健診時に実施しているブックスタートでの「読みきかせ体験」を継続して行います。○ 母子健康手帳交付時の「子育て！おうえん本リスト」配布、「パパママ学級」での読みきかせや図書館利用の啓発を継続して行います。○ 絵本や児童書、子育てなどのテーマに応じた貸出セット（「暮らしに読書を、おうえん」貸出セット）を子育て支援センター等で活用します。○ 市立図書館の子ども向け大活字本などのバリアフリー資料や、障害者手帳や療育手帳をもつ子どもへの「宅配貸出サービス」を活用し、障害がある子どもたちの支援に努めます。○ 「福知山市子どもの読書活動推進連絡会」とおして、読みきかせなどの事業について情報を共有するとともに、連携して広報を行い周知を図ります。○ 親子で読書を楽しめる場所や講座（市立図書館のおはなし会など）の広報に努め新たな利用者の開拓を進めます。○ 市立図書館と連携して、子育てサロンや子育てサークルでの図書館職員による出張おはなし会の活用を図ります。

(3) 読書の啓発

事業内容・具体的取組
<ul style="list-style-type: none">○ 「としょかんだより」(※)の配布を継続し、家庭での読書の啓発に努めます。○ 季節やテーマについての「ブックリスト」を活用したり、行事カレンダーでおすすめ絵本を紹介するなどして、家庭での読書につなげます。○ 絵本や児童書などのテーマに応じた貸出セット（「暮らしに読書を、おうえん」貸出セット）を活用した読書の啓発を推進します。

※としょかんだより → P19 用語集参照

2 保育園・幼稚園・こども園等で本と出会う

— 本の世界と出会い、楽しさを体験します —

本と出会い読書の楽しさを体験できるように、保育園・幼稚園・こども園等で子どもと本との出会いを支援します。保育園・幼稚園・こども園等で心豊かに読書の楽しさを味わった子どもたちが、家庭でも本とふれあう機会が増えるような取組を進めていきます。



(1) 読みきかせの充実

事業内容・具体的取組

- 保育士・教諭・保育教諭による読みきかせを継続して行います。
- 子どもが身近に本と触れ合えるような読書コーナーの設置やおすすめ絵本の展示などの環境整備に努めます。
- 家庭でも読みきかせができるよう絵本の貸出などの支援体制づくりを進めます。
- 「としょかんだより」の配布を継続するほか、季節やテーマについての「ブックリスト」を活用し、園や家庭での読書につなげます。
- 子どもたちの読書体験をより豊かなものとするため、保育士・教諭・保育教諭に対する読みきかせに関する研修や講演会の開催など、スキル向上の環境整備に努めます。
- 市立図書館と連携して、図書館職員による出張おはなし会や図書館「体験」事業の活用を図ります。

(2) 家庭読書の支援

事業内容・具体的取組
<ul style="list-style-type: none">○ 参観日や懇談会などの機会に、毎日の生活に絵本を取り入れる工夫について紹介するなど「絵本を活用した子育て」の提案に努めます。○ 保育園・幼稚園・こども園や市立図書館で開催する講演会などの広報に努め、保護者の参加を促します。○ 「園だより」や「としょかんだより」、図書のリストを作成・配布・活用し、本の紹介に努めます。

(3) 支援体制の整備

事業内容・具体的取組
<ul style="list-style-type: none">○ 市立図書館と連携して、図書館職員による出張おはなし会や図書館「体験」事業の活用を図ります。○ 絵本などのテーマに応じた貸出セット（「暮らしに読書を、おうえん」貸出セット）を保育園・幼稚園・こども園等で活用し、図書の充実に努めます。○ 家庭でも読みきかせができるよう絵本の貸出などの支援体制づくりを進めます。○ 市立図書館の移動図書館や団体貸出を活用し、保育園・幼稚園・こども園等の図書の充実に努めます。

3 学校で本と出会う

— 子どもの意欲的な読書活動を支援します —



学校図書館は、学校教育の中で児童生徒が自由に読書を楽しみ、創造力を培い、豊かな心を育む機能と、学習に対する興味・関心などを呼び起こし児童生徒の自発的、主体的な学習活動を支援し、教育課程の展開に寄与する機能を果たすことが期待されます。

学校図書館の運営に当たっては校長のリーダーシップのもと、司書教諭や学校司書が中心となって教職員や保護者などが連携・協力し、それぞれの立場から学校図書館の機能充実につながる取組を進めていきます。

(1) 読書支援の充実

事業内容・具体的取組

- 小中学校での毎日の読書を継続して行います。
- 中学校に適応した読書活動の取組を検討し、実施を目指します。
- 「学校だより」や「学校図書館だより」「学級通信」などを活用して児童生徒や保護者に読書の大切さを啓発します。
- 児童生徒用に配備したタブレット型端末を活用し、読書の啓発を検討・実施します。
- 「としょかんだより」の配布を継続するほか、テーマごとの「ブックリスト」や「ブックトークマニュアル」(※)を活用し、読書支援に努めます。

(2) 学校図書館の環境整備

事業内容・具体的取組

- 小中学校の学校図書館を毎日開館するよう努めます。
- 学校図書館の資料の充実を図るとともに、利便性の向上に努めます。
- 学校図書館の選書(※)の参考となるよう、市立図書館の「見計らい」(※)を活用するなどの取組を実施します。
- 市立図書館の移動図書館や団体貸出、絵本・児童書などのテーマに応じた貸出セット(「暮らしに読書を、おうえん」貸出セット)、京都府立図書館の「学校支援セット」(※)を学校で活用します。

※ブックトークマニュアル・選書・見計らい・学校支援セット → P19 用語集参照

(3) 支援体制の整備

事業内容・具体的取組

- 学校と市立図書館が連携し、図書館「体験」事業の活用を図ります。
- 職員のスキルアップのための読書活動の推進や図書館教育に関する研修などを受講できるよう環境整備に努めます。
- 「福知山市子どもの読書活動推進連絡会」をとおして、学校司書と市立図書館が学校図書館のより良い運営方法について情報を共有し連携して取り組みます。
- 市立図書館の団体貸出や絵本や児童書などのテーマに応じた貸出セット（「暮らしに読書を、おうえん」貸出セット）、京都府立図書館の「学校支援セット」を学校で活用します。
- 「福知山市子どもの読書活動推進連絡会」をとおして、学校とボランティアなどが連携し、学年に応じた取組の大切さを共有して実施に努めます。

(4) 研修環境の充実

事業内容・具体的取組

- 職員のスキルアップのための読書活動の推進や図書館教育に関する研修などを受講できるよう環境整備に努めます。
- 読みきかせやブックトーク・図書の修理など、スキルアップのための研修を職員が受講できるよう環境整備に努めます。

4 市立図書館で本と出会う

— 読書をとおして、子どもの世界を広げます —



図書館は、子どもにとって読書の楽しみや本によって得る知識や情報の多さを知るばかりでなく、地域やそこで出会う人ともつながることができる生活と成長に必要な機能を持つ施設です。

図書館の機能を最大限に活用し、子どもの読書活動に関わる学校や保育園、幼稚園、子ども園、児童館、児童センター、放課後児童クラブ、地域文庫、ボランティアなどと連携・協力することで、読書活動を推進していきます。

(1) 図書 の 充 実

事業内容・具体的取組

- 「佐藤八重子記念子ども読書活動振興基金」(※)などを活用し蔵書の充実に努め、令和6年度末に児童書所蔵数 140,000冊を目指します。
(令和元年度末所蔵数：121,198冊)
- 中学生・高校生の利用を促進するため、ティーンズコーナーの充実に努めます。
- すべての子どもたちが読書に親しめるよう特別支援学校や特別支援学級と連携を図り、子ども向け大活字本やマルチメディアDAISY(※)などの資料の充実に努めます。
- 移動図書館の資料の充実に努めるとともに、絵本や児童書などのテーマに応じた貸出セット(「暮らしに読書を、おうえん」貸出セット)の活用を推進します。

(2) 図書館活用の推進

事業内容・具体的取組

- 図書館「体験」事業を継続し、園児や児童生徒に対して図書館活用の教育を図ります。
- 出張おはなし会を拡充し、新たな図書館利用者の開拓を進めます。
- 絵本や児童書などのテーマに応じた貸出セット(「暮らしに読書を、おうえん」貸出セット)の活用を推進します。

※佐藤八重子記念子ども読書活動振興基金・マルチメディアDAISY → P19 用語集参照

(3) 読書に親しむ環境整備

事業内容・具体的取組

- 絵本や児童書などのテーマに応じた貸出セット（「暮らしに読書を、おうえん」貸出セット）や京都府立図書館の「学校支援セット」の周知に努め、活用促進を図ります。
- 読書の楽しさを体験できる取組（おはなし会など）・季節やテーマに沿った特集展示を企画し、実施します。
- 中学生・高校生の職場体験学習を積極的に受け入れるとともに、中学校・高校と連携した事業（中高生による読みきかせやおすすめ本のポップ展示など）を継続します。
- 学校と連携し図書館を学校情報の発信の場として提供することで、図書館が生徒たちの身近な存在となることを目指します。
- 学校司書研修会の開催などをおして学校司書と連携し、学校図書館の充実を支援します。
- 障害者手帳や療育手帳をもつ子どもへの「宅配貸出サービス」などを広報し、活用につなげます。
- 「福知山市子どもの読書活動推進連絡会」をおした関係機関との連携を継続します。

(4) ボランティアの育成と支援

事業内容・具体的取組

- 「読書ボランティア養成講座」等、講演会を開講し、ボランティアの育成を図ります。
- 「読書ボランティア養成講座」等の受講者に活動の場を提供するよう努めます。

***図書館「体験」事業とは・・・**

図書館活用の教育を図る事業です。

<事業メニュー>

①施設見学体験	書架や自動貸出機などの館内設備の見学をとおして、図書館を体験します。
②本探し体験	館内資料検索用パソコン(OPAC)を活用して、書架から本を探す体験をします。
③貸出体験	借りたい本を選び、自動貸出機を使って貸出体験します。
④おはなし会体験	おはなし会に参加し、おはなしの世界を体験します。

***「暮らしに読書を、おうえん」貸出セットとは・・・**

- ・図書館職員が選書した50冊の本をセットにして、小学校や幼稚園・保育園・こども園・保育事業所・児童館・子育て支援センター・放課後児童クラブ等に貸し出す新しいサービスです。
- ・子ども向きのセットは、絵本・読み物・調べ学習など45セットあり、2セットまで2か月間貸し出します。貸出を希望される団体は、電話・FAX等で図書館に申し込んでください。

<主なセット内容>

セット名	対象	内容
あかちゃん 絵本セット	0歳～2歳児	あかちゃん向け絵本
幼児 絵本セット	3歳～5歳児	幼児向け絵本
おすすめ絵本セット	0歳～5歳 各種	図書館「おすすめ絵本リスト」 でとりあげた絵本
小学生 読みきかせセット	小学生	読みきかせにおすすめな絵本・ 読み物
読み物・絵本セット	小学校低学年	低学年向け絵本・読み物
読み物セット	小学校高学年	高学年向け読み物
低学年セット	小学校低学年	低学年向け絵本・読み物・しらべ学習
高学年セット	小学校高学年	高学年向け読み物・しらべ学習
学習まんがセット	小学生	歴史・伝記等学習まんが

5 地域で本と出会う

- 人と本とのかかわりで、
豊かな交流のまちをつくります —



子どもの読書活動を推進するためには、身近なところで読書に親しめる環境を整備し、お互いに連携しながら活動を進めていくことが重要です。

地域での読書環境を豊かにし、子どもの創造力や知識の獲得に大きな役割を果たすために、子どもが集まる場所で読書活動の推進を図ります。

(1) 読書に親しむ環境整備

事業内容・具体的取組

- 地域において読書できる児童館や地域文庫などの広報に努めます。
- 市立図書館と連携して、図書館職員による出張おはなし会や見学会等、活用を図ります。

(2) 図書の実充

事業内容・具体的取組

- 市立図書館の団体貸出や絵本・児童書などのテーマに応じた貸出セット（「暮らしに読書を、おうえん」貸出セット）を活用し、図書の充実に努めます。
- 地域と市立図書館が京都府立図書館と連携し、貸出文庫制度を活用することで地域の図書の充実に努めます。

(3) 支援体制の充実

事業内容・具体的取組

- 読みきかせに関する研修や講演会に参加する環境を整え、子どもたちの読書体験をより豊かなものとするよう努めます。
- 図書館を利用しにくい児童館や放課後児童クラブで移動図書館を利用できる機会を検討します。

参考資料

用語集

用語	解説
ブックスタート	1992年に英国で始まった取組で、日本では2001年4月に12市町村が実施をはじめ、全国各地域に広がっている。 福知山市では、平成15年度から4か月児健診時にボランティアによる絵本の読みきかせを親子で体験してもらうとともに、絵本などのプレゼントを行っている。
福知山市子どもの読書活動推進連絡会	子どもの読書活動の推進を円滑に進めるため平成28年度に設置した、福知山市役所内の連絡会。教育委員会（教育総務課・学校教育課・生涯学習課）と、子ども政策室（母子保健・家庭支援担当、保育園、児童館）の職員で組織し、図書館が事務局となって相互の連携を図っている。
福知山市立図書館協議会	福知山市立図書館条例第7条及び福知山市立図書館条例施行規則第5条の規定に基づき、図書館協議会を置く。図書館協議会の設置は、図書館法第14条に基づく。 図書館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、図書館の行う図書館奉仕につき、館長に対して意見を述べる機関。
としょかんだより	図書館行事の案内やおすすめ本の紹介などを掲載した福知山市立図書館の児童生徒向け広報誌。年4回（うち1回は「夏休みに読みたい本」）発行し、市立小中学校の全児童生徒に配布している。
ブックトーク マニュアル	「ブックトーク」は、子どもたちに本や読書への興味を持ってもらえるよう、テーマに沿って何冊かの本を紹介することをいう。 福知山市立図書館では、学校などでの読書活動にブックトークを取り入れてもらえるよう、テーマの決め方や本の選び方・実際に本を紹介するシナリオなどをマニュアルにする取組を進めていく。
選書	学校図書館や市立図書館で所蔵する図書等を選ぶこと。一定の方針に則ってその図書館に必要となる蔵書を内容に偏りなく選ぶこと。
見計らい	図書館の選書方法の1つで、書店等から持ち込まれる図書の現物を実際に見て内容等を確認しながら購入する本を選ぶこと。
学校支援セット	京都府立図書館が府内の学校に対して、調べ学習等に役立つ図書をテーマごとにセットで貸出を行う取組。
佐藤八重子記念 子ども読書活動 振興基金	佐藤八重子さんから「福知山のこどもたちの健やかな成長を願って」寄せられた寄附金をもとに、平成24年度に設けられた基金。図書館の児童図書の購入や子どもの読書活動推進のための取組、ブックスタート事業などに活用している。
マルチメディア DAISY	視覚障害者や活字だけでは文の内容を理解しづらい人なども読みやすいように、本の文字と画像が音声と同時に再生されるよう作成されている電子図書。

第2次計画における取組とアンケートの分析

(1) 保育園等・幼稚園向けアンケート (回答数: 保育園等 29園・幼稚園 4園)

問① 毎日、絵本の読みきかせなどの時間を設けている

答え はい (保育園等 29園 / 幼稚園 4園) いいえ (保育園等 0園 / 幼稚園 0園)

問② (①が「いいえ」の場合のみ) 週に読みきかせをしていますか → 設問該当園なし

問③ 読みきかせなどにボランティアを活用している

答え はい (保育園等 1園 / 幼稚園 1園) いいえ (保育園等 28園 / 幼稚園 3園)

問④ ボランティアの活動回数

答え 月1回 (保育園等 1園 / 幼稚園 0園)

月2回 (保育園等 0園 / 幼稚園 1園)

問⑤ ボランティアを活用していない理由 (複数回答あり)

答え 職員・保育士等が実施しているから (保育園等 27園 / 幼稚園 2園)

人がいないから (保育園等 3園 / 幼稚園 2園)

問⑥ 園の絵本などの貸出を行っている

答え はい (保育園等 13園 / 幼稚園 3園) いいえ (保育園等 16園 / 幼稚園 1園)

※「現在コロナのため中止している」と記載のある園がありました

問⑦ 保護者へ読みきかせを啓発している

答え はい (保育園等 18園 / 幼稚園 3園) いいえ (保育園等 11園 / 幼稚園 1園)

問⑧ 啓発の具体的な取組 (複数回答あり)

答え ○ 園だよりやクラスだよりを用いて読みきかせの啓発や絵本紹介 (18園)

○ 講演会の開催 (3園)

○ 絵本コーナーや掲示で紹介 (2園)

○ 絵本カフェの開催 (1園)

○ 月刊誌の持ち帰り (1園)

問⑨ 市立図書館の団体貸出などを利用している

答え はい (保育園等 18園 / 幼稚園 4園) いいえ (保育園等 11園 / 幼稚園 0園)

問⑩ 団体貸出を利用していない理由 (複数回答あり)

答え 園の本が充実している (保育園等 9園 / 幼稚園 0園)

時間がない・遠い (保育園等 2園 / 幼稚園 0園)

利用方法が分からない (保育園等 0園 / 幼稚園 0園)

その他 (保育園等 3園 / 幼稚園 0園)

※その他: 「団体貸出のことを知らなかった」、「利用更新をしなかった」、「コロナ感染予防のため」

問⑪ 求める読書支援サービス (複数回答あり)

答え 読みきかせ・おはなし会 (保育園等 11園 / 幼稚園 2園)

研修会の開催 (保育園等 7園 / 幼稚園 3園)

貸出セット・団体貸出サービス (保育園等 3園 / 幼稚園 1園)

特になし (保育園等 9園 / 幼稚園 1園)

子どもの読書活動の推進についての意見・提案

- 移動図書館に来てもらい、本に触れ合う機会をつくってもらっている。子どもたちは大変楽しみにしている(複数の園)
- 年間を通して日々の保育に絵本を使用したり、園の行事で大型絵本等を使用したりして子どもたちに絵本を提供している。絵本と触れ合い、物語の世界に親しむ機会として図書館の絵本を借りている
- 人権の視点で絵本を探して活用することが多いため、平和学習・節分・男女共同参画やLGBT、手話等の絵本のリストがあれば良いとも思っている
- 園でおはなし会をしてもらえると、いつも関わっている保育士とは違う新たな刺激を受けたり、おはなしの世界が広がったりするのではないかとと思う。現在のコロナの状況が落ち着いたら、そのようなことができればよい(複数の園)
- 保護者向けの読みきかせの楽しさや大切さについての講演会や職員に対しての研修会やワークショップなどがあればぜひ利用してみたい(複数の園)
- 保護者や職員から図書館へ行った話をよく聞く。子ども時代に本が近くにあることはとてもすばらしい
- 「としょかんだより」を参考に、保護者に絵本の紹介をしている
- 図書館に行って読みきかせに参加する取組はありますか？
- 保護者には絵本の良さを伝えたいと思い、毎年絵本の貸出やお便りなどによる啓発を行ってきたが、実際には育児に十分に絵本を活用できていないと感じる
- 子育て講演会などでの反応を見ると、絵本の読みきかせに興味がある、ぜひ取り入れたいという意識はあるが、理想と現実に差があり「十分に読んでやれなかった」という反省の意識が強いようだ
- 園では新しい本を次々購入できないので、おすすめ・新刊などの情報をチェックして利用させてもらおうと思う

(2) 小学校・中学校向けアンケート(回答数:小学校 16校・中学校 10校)

問① 「読書の時間」を設けている

答え はい(小学校 16校 / 中学校 9校) いいえ(小学校 0校 / 中学校 1校)

問② 学校図書館を毎日開館している

答え はい(小学校 16校 / 中学校 7校)

【内訳】	30分未満	(小学校 2校 / 中学校 5校)
	30分以上1時間未満	(小学校 1校 / 中学校 0校)
	1時間以上5時間未満	(小学校 5校 / 中学校 0校)
	5時間以上10時間未満	(小学校 7校 / 中学校 1校)
	始業前・業間休み	(小学校 1校 / 中学校 1校)

問③ 学校図書館を定期的に開館している(毎日開館ではない)

答え はい(小学校 0校 / 中学校 3校)

【内訳】 中学校 (週3日 / 計 30分~45分)

問④ 児童・生徒数及び貸出冊数(令和元年度)

答え 【児童・生徒数】 100人未満 (小学校 6校 / 中学校 3校)
 500人未満 (小学校 7校 / 中学校 6校)
 500人以上 (小学校 2校 / 中学校 1校)
 無回答・その他 (小学校 1校 / 中学校 0校)

【貸出冊数】 1,000冊未満 (小学校 2校 / 中学校 3校)
 5,000冊未満 (小学校 5校 / 中学校 4校)
 10,000冊未満 (小学校 2校 / 中学校 0校)
 10,000冊以上 (小学校 2校 / 中学校 1校)
 無回答・その他 (小学校 5校 / 中学校 2校)

【児童・生徒1人当たりの貸出冊数】

10冊未満 (小学校 4校 / 中学校 5校)
 50冊未満 (小学校 1校 / 中学校 3校)
 50冊以上 (小学校 6校 / 中学校 0校)
 無回答・その他 (小学校 5校 / 中学校 2校)

問⑤ 読書活動推進のための取組を行っている

答え はい (小学校 13校 / 中学校 2校) いいえ (小学校 3校 / 中学校 8校)
※小学校の「いいえ」のうち2校は「前年度は実施」との記載あり

問⑥ 取組の内容 (複数回答あり)

答え 【内容】 読みきかせ (小学校 14校 / 中学校 1校)
ブックトーク (小学校 5校 / 中学校 1校)
工作 (小学校 1校 / 中学校 0校)
無回答 (小学校 1校 / 中学校 0校)

【対象】 全学年 (小学校 7校 / 中学校 2校)
低学年(小学1年~3年) (小学校 8校)
高学年(小学4年~6年) (小学校 0校)
学年の記載なし (小学校 4校 / 中学校 0校)

【回数】 毎日 (小学校 1校 / 中学校 0校)
週に数回 (小学校 6校 / 中学校 0校)
月に数回 (小学校 5校 / 中学校 1校)
学期に1回 (小学校 3校 / 中学校 1校)
不定期 (小学校 1校 / 中学校 0校)
回数の記載なし (小学校 2校 / 中学校 0校)

【時間】 10分 (小学校 8校 / 中学校 2校)
1時間未満 (小学校 3校 / 中学校 0校)
朝読書 (小学校 3校 / 中学校 0校)
授業中 (小学校 1校 / 中学校 0校)
時間の記載なし (小学校 6校 / 中学校 0校)

問⑦ ボランティアを活用している

答え はい (小学校 16校 / 中学校 0校) いいえ (小学校 0校 / 中学校 10校)

問⑧ ボランティアの活動内容 (複数回答あり)

答え 【内容】 読みきかせ (小学校 15校)
ブックトーク (小学校 3校)
クイズ (小学校 1校)
図書館整備 (小学校 1校)
内容の記載なし (小学校 1校)

【対象】 全学年 (小学校 13校)
学年の記載なし (小学校 3校)

【回数】 週に数回 (小学校 9校)
月に数回 (小学校 6校)
学期に1回 (小学校 1校)
年に1回 (小学校 1校)

【時間】 10分 (小学校 13校)
20~30分 (小学校 4校)
1時間 (小学校 1校)

問⑨ ボランティアを活用していない理由

答え 必要がない (小学校 0校 / 中学校 2校)

人気がない (小学校 0校 / 中学校 2校)

その他 (小学校 0校 / 中学校 4校)

※その他:「読みきかせを行う時間確保が難しい」「読書指導に割く時間とソースが圧倒的に足りない」「読みきかせを考えていない」「必要な場合は教職員で行える」

問⑩ データベース化に取り組んでいる

答え はい (小学校 14校 / 中学校 7校) いいえ (小学校 2校 / 中学校 3校)

問⑪ 司書教諭の資格を持つ図書主任がいる

答え はい (小学校 6校 / 中学校 7校) いいえ (小学校 10校 / 中学校 3校)

問⑫ 司書教諭の資格を持つ教職員がいる

答え はい (小学校 15校 / 中学校 7校) いいえ (小学校 1校 / 中学校 3校)

問⑬ 求める読書支援サービス(複数回答あり)

答え 読みきかせ・ブックトーク (小学校 9校 / 中学校 3校)

資料の並べ方相談 (小学校 0校 / 中学校 3校)

研修会の開催 (小学校 6校 / 中学校 3校)

調べ学習の支援 (小学校 13校 / 中学校 5校)

貸出セット・団体貸出サービス (小学校 8校 / 中学校 4校)

その他 (小学校 0校 / 中学校 0校)

特になし (小学校 0校 / 中学校 2校)

参考 ①「読書活動推進計画」を作成している ※教育委員会に確認

答え はい (小学校 16校 / 中学校 9校) その他 中学校 1校(市立中以外のため不明)

参考 ②「学校図書館図書標準」を達成している ※教育委員会に確認

答え はい (小学校 3校 / 中学校 1校) いいえ (小学校 13校 / 中学校 8校)

その他 (小学校 0校 / 中学校 1校)(市立中以外のため不明)

問⑭ 「学校図書館図書標準」の達成率

答え 80%未満 (小学校 6校 / 中学校 1校)

80%代 (小学校 4校 / 中学校 3校)

90%代 (小学校 3校 / 中学校 4校)

子どもの読書活動の推進についての意見・提案

○団体貸出等は、手続きが簡単になるとありがたい(小)

○見学は、児童の学習や体験を大切に計画し、相談に乗ってもらえてうれしい(小)

○移動図書館を毎回大変楽しみにしている(複数小)

○「としょかんだより」は子どもが興味を持つような本を選んでもらっていてありがたい(小)

○市立図書館の団体利用貸出数・府立図書館の学校支援セットの貸出数を増やしてほしい(小)

○学校支援セットは調べ学習に大変役立っている(小)

○学校支援セットは、利用する時期が重なる場合があって困るときがある(小)

○学校支援セットは、インターネットで貸出状況がわかってすぐに申し込めたら利用しやすい(小)

○分析や業務軽減のためにもバーコード化を進めてほしい。図書館のノウハウを教えてください、より良い管理を可能にして、生徒のニーズに合う図書館にしたい(中)

○「としょかんだより」には良い本を紹介してもらっているので参考にしている(中)

○団体貸出の延長ができるようになるとありがたい(中)

(3) 高等学校向けアンケート (回答数: 4校)

問① 「読書の時間」を設けている

答え はい (3校) いいえ (1校)

問② 学校図書館を毎日開館している

答え はい (4校) いいえ (0校)

問③ (②が「いいえ」の場合のみ) 学校図書館の開館時間 → 設問該当校なし

問④ 生徒数及び貸出冊数 (令和元年度)

答え 【生徒数】 700人未満 (1校)

700人以上 (2校)

無回答・その他 (1校)

【貸出冊数】 1,000冊未満 (2校)

1,000冊以上 (1校)

無回答・その他 (1校)

【生徒1人当たりの貸出冊数】

1冊未満 (1校)

5冊未満 (2校)

不明 (1校)

問⑤ 読書活動推進のための取組を行っている

答え はい (4校) いいえ (0校)

問⑥ 取組の内容 (複数回答あり)

答え おすすめ本の紹介 (3校)

としょかんだより・広報誌発行 (4校)

ビブリオバトル・ストーリーテリング (2校)

本の帯やポスター掲示 (1校)

問⑦ 専任の学校司書を配置している

答え はい (4校) いいえ (0校)

問⑧ ボランティアを活用している

答え はい (0校) いいえ (4校)

問⑨ 「読書活動推進計画」を作成している

答え はい (1校) いいえ (3校)

問⑩ データベース化に取り組んでいる

答え はい (3校) いいえ (1校)

問⑪ 求める読書支援サービス (複数有)

答え 資料の並べ方相談 (1校)

研修会の開催 (1校)

貸出セット・団体貸出サービス (3校)

おすすめ本の展示・企画展示 (2校)

特になし (0校)

子どもの読書活動の推進についての意見・提案

○ヤングアダルトコーナーの充実、ライトノベルをもっと入れてもらえると、高校生が喜ぶと思う

○府立図書館の支援セットのように、まとめて高校生向きの良書をお借りできると、一斉読書や調べ学習でとても役立つ

(4) 児童館向けアンケート (回答数：9館)

問① 毎日、読みきかせの時間を設けている

答え はい (0館) いいえ (9館)

問② (①が「いいえ」の場合のみ) 週に読みきかせの時間を設けている

答え はい (0館) いいえ (9館)

問③ ボランティアを活用している

答え はい (2館) いいえ (7館)

問④ ボランティアの活動回数

答え 年1回 (2館)

問⑤ ボランティアを活用しない理由

答え 職員が実施 (3館)

ボランティアがいない (2館)

その他 (4館)

※その他：「行事以外の日は来館児童がほとんどいない」「コロナ感染拡大防止のため」

問⑥ センター・館で貸出を行っている

答え はい (8館) いいえ (0館) 無回答 (1館)

問⑦ 本の利用状況

答え よく利用されている (1館)

まあまあ利用されている (5館)

あまり利用されていない (3館)

問⑧ 図書館の団体貸出を利用している

答え はい (4館) いいえ (5館)

問⑨ 団体貸出を利用していない理由

答え 館で充実している (1館)

時間がない・遠い (1館)

利用方法が分からない (1館)

その他 (3館)

※その他：「利用券を紛失している」「個人カードで利用している」「併設の児童クラブの子どもが借りている」

問⑩ 求める読書支援サービス (複数有)

答え 読みきかせ・おはなし会 (5館)

研修会の開催 (1館)

貸出セット・団体貸出サービス (4館)

除籍本の提供 (1館)

その他 (1館)

特になし (3館)

※その他：高齢者向けのおはなし会

子どもの読書活動の推進についての意見・提案

- インターネットの発達等により、子どもの読書離れは進んでいると思われる。親世代への働きかけやブックスタート等での地道な呼びかけが必要
- 児童の長期休暇等の宿題で、読書感想文が設定されるので、書き方の学習会をしてほしい
- 今年度はコロナにより読みきかせ等の取組ができない状況だが、状況を見ながら取り組んでいきたい
- コロナで休館中のセット貸出を利用したが、職員とは違った視点で選定されていてよかった
- 自分から本を読む子を増やすために、色々な場面で読書の楽しさを増やすことが必要

(5) 放課後児童クラブ向けアンケート (回答数：15クラブ)

問① 毎日、読みきかせの時間を設けている

答え はい (5クラブ) いいえ (10クラブ)
※長期休みは「はい」を含む

問② (①が「いいえ」の場合のみ) 週に読みきかせの時間を設けている

答え はい (12クラブ) いいえ (1クラブ)
【回数】 週1回 (9クラブ)
週2～3回 (2クラブ)
週5回 (1クラブ)

問③ ボランティアを活用している

答え はい (0クラブ) いいえ (15クラブ)

問④ ボランティアの活動回数 → 設問該当クラブなし

問⑤ ボランティアを活用しない理由 (複数回答あり)

答え 職員が実施 (13クラブ)
ボランティアがいない (2クラブ)
その他 (1クラブ)
※その他：少人数で退所時間がバラバラで時間がとれない

問⑥ 児童クラブで本を所蔵している

答え はい (15クラブ) いいえ (0クラブ)

問⑦ 児童クラブで貸出を行っている

答え はい (0クラブ) いいえ (15クラブ)

問⑧ 本の利用状況

答え よく利用されている (3クラブ)
まあまあ利用されている (5クラブ)
あまり利用されていない (2クラブ)
無回答 (5クラブ)

問⑨ 図書館の団体貸出を利用している

答え はい (11クラブ) いいえ (4クラブ)

問⑩ 団体貸出を利用していない理由

答え 充実している (0クラブ)
時間がない・遠い (2クラブ)
利用方法が分からない (0クラブ)
無回答・その他 (4クラブ) ※「個人カードで借りている」「児童が読みきかせをあまり好きでない」

問⑪ 求める読書支援サービス（複数回答あり）

答え	読みきかせ・おはなし会	(3 クラブ)
	研修会の開催	(1 クラブ)
	貸出セット・団体貸出サービス	(10 クラブ)
	絵本・児童書の提供	(10 クラブ)
	その他	(0 クラブ)
	特になし	(1 クラブ)

子どもの読書活動の推進についての意見・提案

- 毎月30冊利用している。選ぶのに時間がかかる
- 大型の紙芝居を増やしてほしい
- 土曜日は児童が図書館を利用して貴重なひと時を過ごさせてもらっている
- 新しいエプロンシアターがあればうれしい
- コロナの休校時、本をたくさん持ってきていただいた（緊急支援セット貸出）のが助かった
- コロナの休校時の貸出セットを春夏冬休みにもしてもらえたらうれしい。児童クラブの本には限りがあり、同じ本を何度も読んでいる状態で、多くの子どもたちにたくさんの本に触れさせてあげたいと思っている
- 普段は指導員が図書館で借りた本を読みきかせに利用させてもらっている
- 高学年に向けての読みきかせは難しい。絵本では「いやだ」という児童が多く、読み物の朗読をしてしまう。高学年向けの絵本の選び方を教えてほしい
- 団体貸出の冊数をもう少し増やしてほしい
- 子どもたちは楽しそうに絵本を見ているが、字は読まず絵だけを見ている様子で、あっという間に本を閉じてしまう。そのため、どうしても字が少なく絵で選んでしまう。また、職員好みになってしまっている。

『平成31年度 全国学力・学習状況調査』の分析

問 読書は好きですか

	小学6年生		中学3年生	
	全国	福知山市	全国	福知山市
回答 当てはまる	44.3 %	45.3 %	38.9 %	34.3 %
どちらかといえば当てはまる	30.7 %	31.2 %	29.1 %	30.4 %
どちらかといえば当てはまらない	16.7 %	16.1 %	19.1 %	17.5 %
当てはまらない	8.3 %	7.4 %	12.8 %	17.8 %

問 学校の授業以外に普段、1日当たりどれくらいの時間読書しますか

	小学6年生		中学3年生	
	全国	福知山市	全国	福知山市
回答 2時間以上	7.0 %	6.9 %	4.8 %	3.1 %
1時間以上2時間より少ない	11.3 %	9.9 %	7.6 %	6.9 %
30分以上1時間より少ない	21.5 %	23.1 %	14.6 %	10.5 %
10分以上30分より少ない	25.9 %	27.3 %	23.4 %	21.5 %
10分より少ない	15.6 %	16.2 %	14.8 %	19.2 %
全くしない	18.7 %	16.6 %	34.8 %	38.5 %

問 昼休みや放課後、休校などの日に本を読んだり借りたりするために学校図書館や図書館にどれくらい行きますか

	小学6年生		中学3年生	
	全国	福知山市	全国	福知山市
回答 週に4日以上	3.5 %	1.2 %	2.1 %	1.6 %
週1～3回程度	13.7 %	10.5 %	6.2 %	4.7 %
月に1～3回程度	23.3 %	29.2 %	12.1 %	9.2 %
年に数回程度	29.4 %	36.1 %	24.1 %	26.4 %
ほとんど行かない	29.9 %	22.9 %	55.3 %	58.2 %

問 新聞を読んでいますか

	小学6年生		中学3年生	
	全国	福知山市	全国	福知山市
回答 ほぼ毎日	7.0 %	8.6 %	4.4 %	4.1 %
週に1～3回程度	12.0 %	12.7 %	8.3 %	9.5 %
月に1～3回程度	19.5 %	26.4 %	15.8 %	17.6 %
ほとんど読まない	61.4 %	52.3 %	71.3 %	68.6 %

※『令和2年度 全国学力・学習状況調査』は、新型コロナウイルス感染症の影響で中止となったため、平成31年度が最新となります。

策定委員会 委員等名簿

(◎…委員長、○…副委員長)

(敬称略、役職等は令和2年7月現在)

区 分	氏 名	所属・役職名 等
学 識 経 験 者	◎大谷 杏	福知山公立大学 准教授
	上垣 裕子	福知山成美高等学校 講師
福知山市立 図書館協議会	○仲野 恵子	福知山市立図書館協議会 副委員長
小学校・中学校	赤井 暁子	福知山市立昭和小学校 校長
保育園・幼稚園	新井 清子	福知山市立天津保育園 園長
ボランティア	梅田 幸子	遷喬小学校読みきかせボランティア・図書館環境整備ボランティア
行 政	前田 剛	教育委員会事務局 教育部長

庁 内 委 員	今福 香保里	福祉保健部 子ども政策室 下六人部児童センター
	長澤 三香	福祉保健部 子ども政策室 三和保育園
	森田 るみ	福祉保健部 子ども政策室
	牧 陽真梨	教育委員会事務局 教育総務課
	一ノ瀬 明美	教育委員会事務局 学校教育課
	倉橋 秀明	教育委員会事務局 生涯学習課

事 務 局	教育委員会事務局 図書館中央館
-------	-----------------